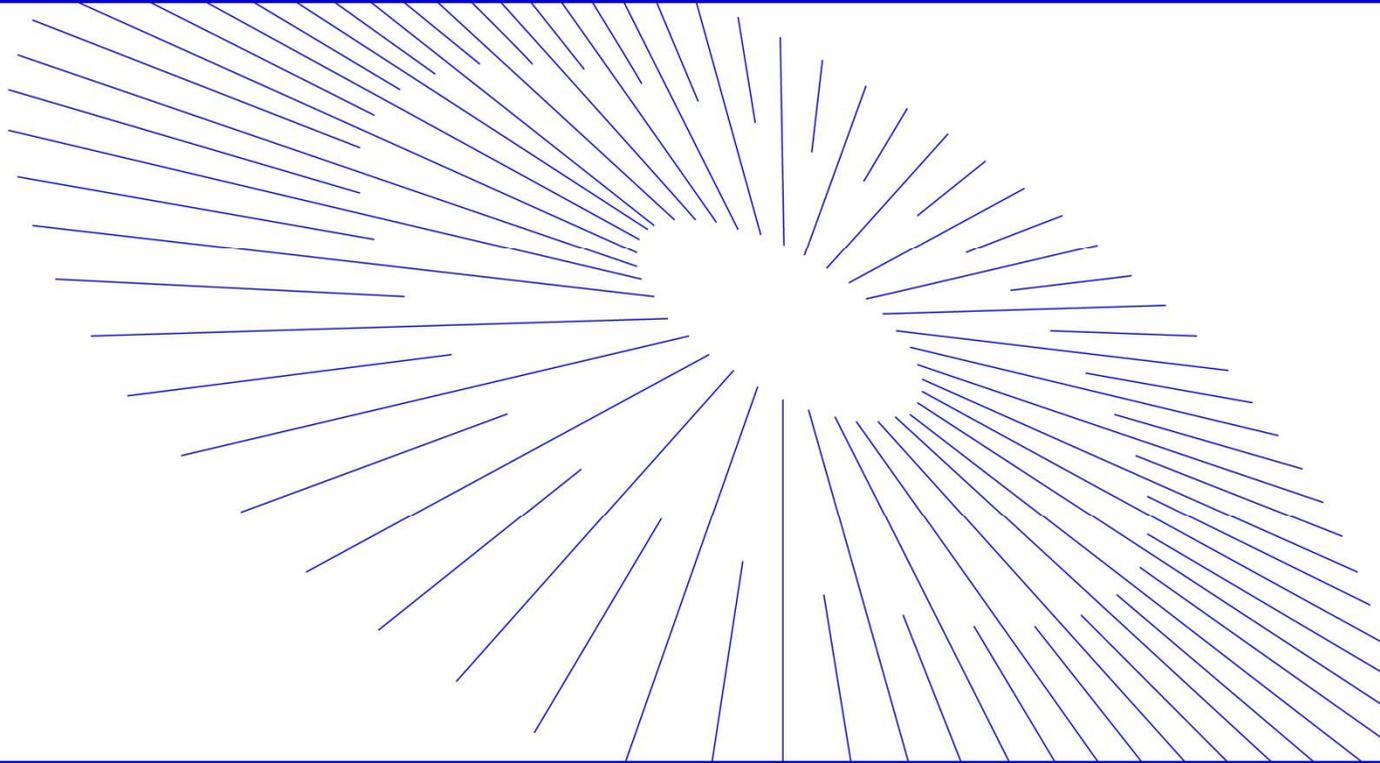


# 20260319 SC Edge2 v11.5リリースノート

---





EARTHBRAIN

## V11.5 主な追加機能

### ✓ 配信スケジュール

- 3/25(Wed)配信予定
- App:v11.5.2, OS:7.3.2 (予定)

### ✓ 追加機能

- i-conレポートアップデート (PDFレポート出力機能)
- Dashboardへの点群・オルソデータの自動反映
- 証明書自動更新対応 ※ v 1 1 以降はアプリ証明書が自動更新になり、アプリの証明書切れによる表示エラーを防止します。
- Fix Wording (エラーメッセージ一部内容修正)
- SFMアルゴリズム改善 ( 160 points/m<sup>2</sup>での処理面積拡大)



## ・ i-ConレポートをPDFとして出力する機能を追加

USBメモリーまたはSDカードに下記データを出力する仕様となりました、i-conレポートPDFは精度結果含む、セルフキャリブレーション・ラップ率結果など、i-con計測提出書類に必要な各種情報が記載されています。

またひな形の精度試験報告書には一部精度結果などの情報が自動転記され出力されます。

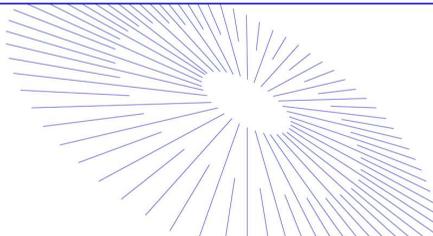
名前	更新日時	種類	サイズ
 i-Construction_report.pdf	2026/01/29 18:44	Adobe Acroba 文書	1,845 KB
 SC Edge2_i-Construction計測基準及び提出書類の説明資料.pptx	2026/02/09 15:56	Microsoft PowerP..	4,644 KB
 ひな形 カメラキャリブレーション及び精度確認試験結果報告書.xlsx	2026/01/29 19:36	Microsoft Excel ワ...	161 KB

SMART CONSTRUCTION Edge  
i-Construction レポート

2026年01月29日



### SC Edge2 i-Construction計測基準及び提出書類の説明



 EARTH BRAIN

(様式-2) カメラキャリブレーションおよび精度確認試験結果報告書	
工事名:	
受注者:	
作成者:	
・カメラキャリブレーションの実施記録	
カメラキャリブレーション実施年月	afmによるセルフキャリブレーション実施
作業機関名	
実施担当者	
使用するデジタルカメラ	メーカー : 測定装置名称 : 測定装置の製造番号 :
・精度確認試験結果 (概要)	
精度確認試験実施年月	
作業機関名	
実施担当者	
測定条件	天候 曇り 気温 8℃
測定場所	
T.S. : GNSS	

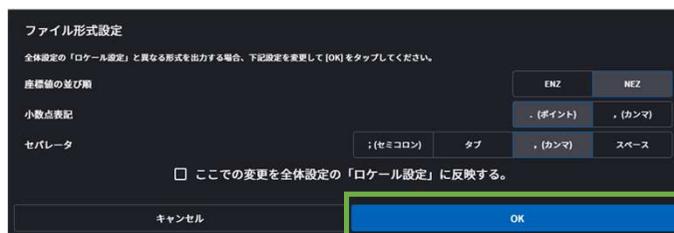


- ・"検証結果を記録メディアにコピーする" ボタン
- ・"生成済みデータを記録メディアにコピーする" ボタン

書き出し画面にて、

- ・SDカード もしくは USBメモリー を選択
- ・i-Construction、点群データ を選択
- ・"書き出し" ボタン押下

・ファイル形式選択ダイアログで "OK" ボタンを押下することで、PDF帳票レポートが生成される



**注※)**  
 プロジェクト座標系がWGS84以外かつ言語として日本語が選択されている場合のみ、PDFの帳票を出力する。それ以外の場合は今まで通りの挙動となる(変更なし)。また、アプリのUIフローに変更はない

- Edge2の自動アップロード機能を拡張し、Dashboardへのタイリング（データ自動反映）まで行えるように機能追加

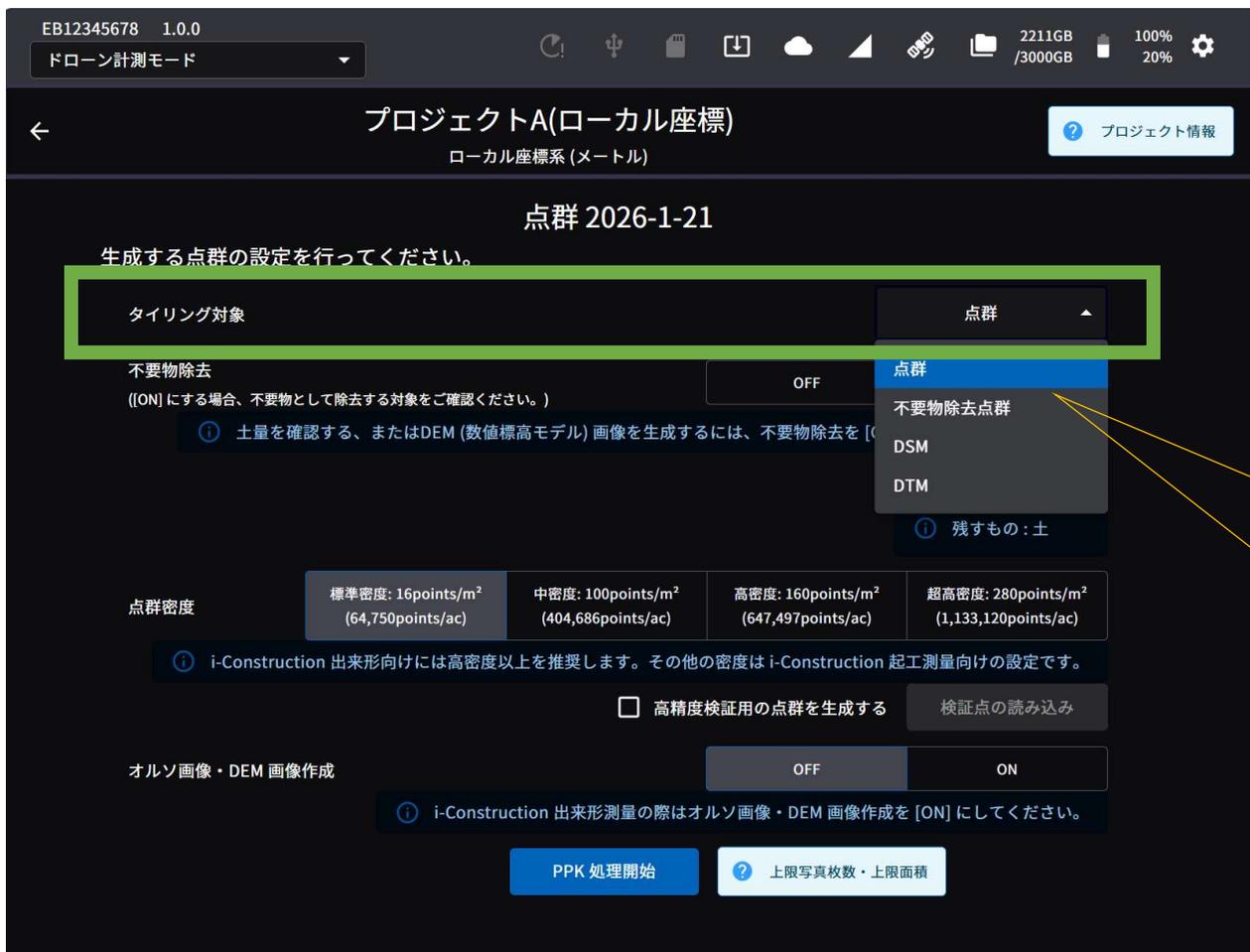
Edge2でDashboardへのデータを送信すると、Dashboard上で見えるようになる



設定画面にて、「点群の設定画面でタイリング対象を選択」の「OFF」と「ON」を設定できる(デフォルトはOFF)。タイリングを選択したいユーザーのみ「ON」に設定してタイリング対象を選択する。

「OFF」を設定しているユーザーについては、点群の設定で不要物除去をOFFにしている場合は、点群不要物除去をONにしている場合は、不要物除去点群をタイリング対象とする。

「ON」を設定しているユーザーについては、点群の設定画面で選択可能となる。



EB12345678 1.0.0  
ドローン計測モード

プロジェクトA(ローカル座標)  
ローカル座標系 (メートル)

点群 2026-1-21

生成する点群の設定を行ってください。

タイリング対象 点群

不要物除去 OFF  
((ON)にする場合、不要物として除去する対象をご確認ください。)  
① 土量を確認する、またはDEM (数値標高モデル) 画像を生成するには、不要物除去を(C

点群密度  
標準密度: 16points/m<sup>2</sup> (64,750points/ac) 中密度: 100points/m<sup>2</sup> (404,686points/ac) 高密度: 160points/m<sup>2</sup> (647,497points/ac) 超高密度: 280points/m<sup>2</sup> (1,133,120points/ac)  
① i-Construction 出来形向けには高密度以上を推奨します。その他の密度は i-Construction 起工測量向けの設定です。

高精度検証用の点群を生成する 検証点の読み込み

オルソ画像・DEM 画像作成 OFF ON  
① i-Construction 出来形測量の際はオルソ画像・DEM 画像作成を [ON] にしてください。

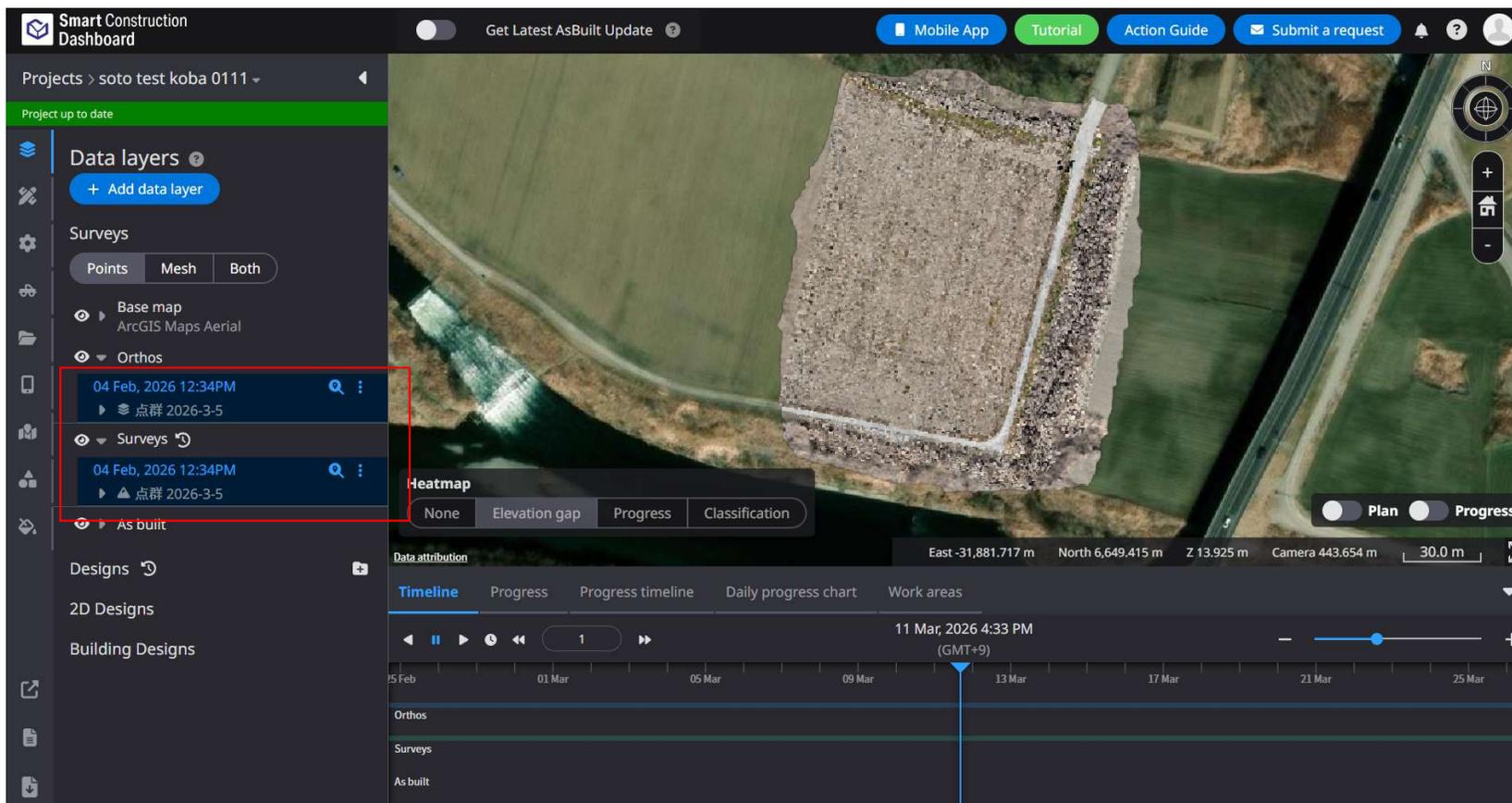
PPK 処理開始 上限写真枚数・上限面積

設定画面にて、「点群の設定画面でタイリング対象を選択」を「ON」に設定した場合に「タイリング対象」を選択することができる。「OFF」の場合は表示されない。

- ・点群
  - ・不要物除去点群
  - ・DSM
  - ・DTM
- の4択から選択する。

この4択とは別に、**オルソ画像**のタイリング・アップロードについては、オルソ画像が生成されたら自動でアップロードする。

Edge2でDashboardへのデータを送信すると、  
 選択したタイリング対象の点群・オルソ画像などが下記の通りに自動反映（タイリング）される。

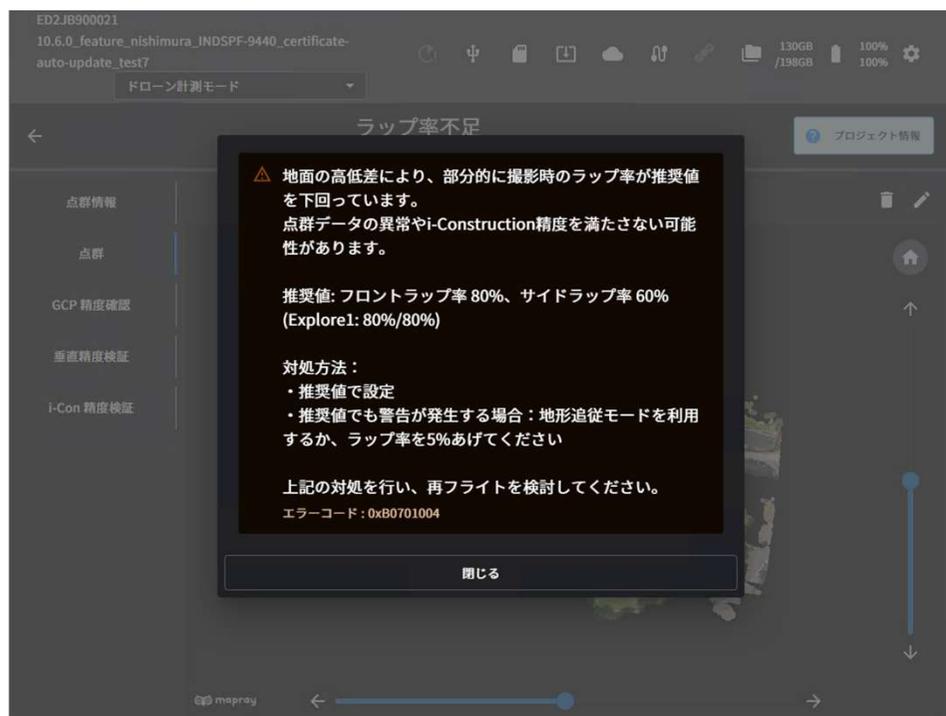


The screenshot displays the Smart Construction Dashboard interface. The left sidebar shows a list of data layers under the 'Orthos' category, with two entries for '04 Feb, 2026 12:34PM' and '点群 2026-3-5' highlighted with a red box. The main view shows an aerial map with a heatmap overlay. The bottom section features a timeline with a play button and a date selector set to '11 Mar, 2026 4:33 PM (GMT+9)'. The timeline shows data points for 'Orthos', 'Surveys', and 'As built'.

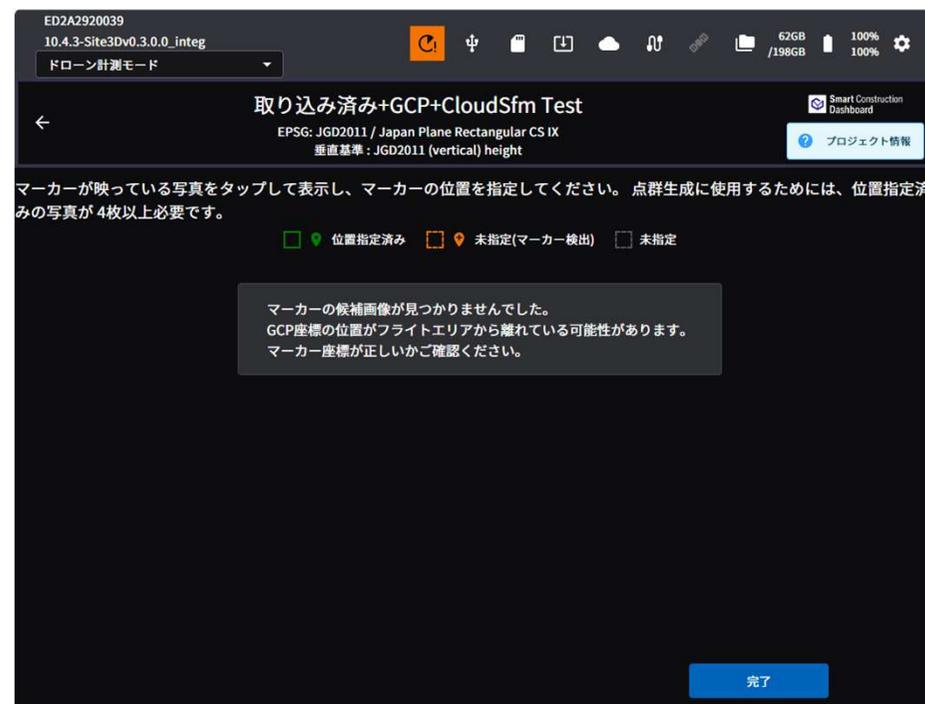
- 表示しているメッセージやエラー文言を修正  
CSコールを減らす対策として文言修正を実施

主な修正の画面キャプチャー

フライトデータのラップ率不足時に警告表示



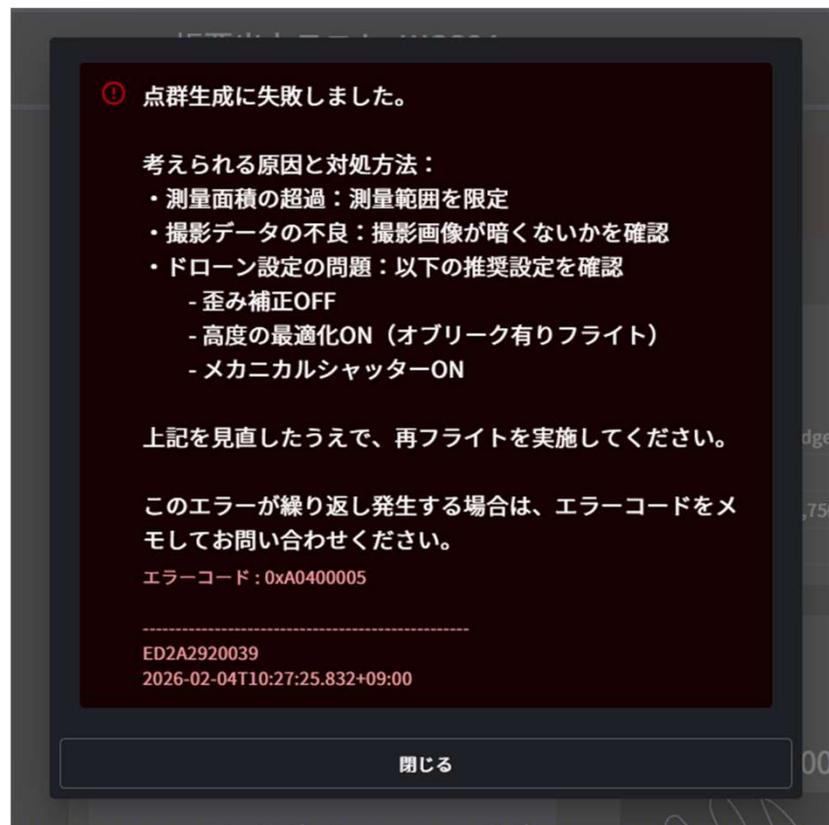
AutoGCP時に候補画像が一枚も出ない場合、  
注意喚起メッセージを表示する



## 上限写真枚数・上限面積の仕様変更に伴うUI変更



## 歪み補正ONによる点群生成の失敗を追記



## アップデート失敗時の文言修正 (ネットワークに接続する旨を追加)

❗ アップデートが正常に実行されませんでした。

ファームウェアのアップデートに失敗しました。

ステータスバーからアップデート通知を確認の上、再度アップデートを実行してください。このエラーが繰り返し発生する場合は、エラーコードをメモしてお問い合わせください。

エラーコード : 0xA3401005

-----

EB12345678  
2026-01-15T13:09:06.744+09:00

閉じる



❗ アップデートが正常に実行されませんでした。

ファームウェアのアップデートに失敗しました。

ステータスバーからアップデート通知を確認の上、ネットワーク接続した状態で再度アップデートを実行してください。

このエラーが繰り返し発生する場合は、エラーコードをメモしてお問い合わせください。

エラーコード : 0xA3401005

-----

EB12345678  
2026-01-15T13:07:57.670+09:00

閉じる

## ■ 面積ベース（Area-Based）

密度	条件	点群+オルソ+オブジェクト 除去	点群+オルソ	点群+オブジェクト除去	点群のみ
280 点/m <sup>2</sup>		5 ha	5 ha	10 ha	10 ha
160 点/m <sup>2</sup>		9 ha → 15 ha	9 ha → 15 ha	18 ha	18 ha
100 点/m <sup>2</sup>		15 ha	15 ha	30 ha	30 ha
16 点/m <sup>2</sup>		50 ha	50 ha	50 ha	50 ha

## ■ 画像枚数ベース（Image Count-Based）

密度	条件	点群+オルソ+オブジェクト 除去	点群+オルソ	点群+オブジェクト除去	点群のみ
280 点/m <sup>2</sup>		500枚	500枚	1000枚	1000枚
160 点/m <sup>2</sup>		937枚 → 1500枚	937枚 → 1500枚	1875枚	1875枚
100 点/m <sup>2</sup>		1500枚	1500枚	3000枚	3000枚
16 点/m <sup>2</sup>		5000枚	5000枚	5000枚	5000枚



## ■ ■ v11RC 1

OTA名称：“11.5.2”

FW VERSION：“11.5.2”

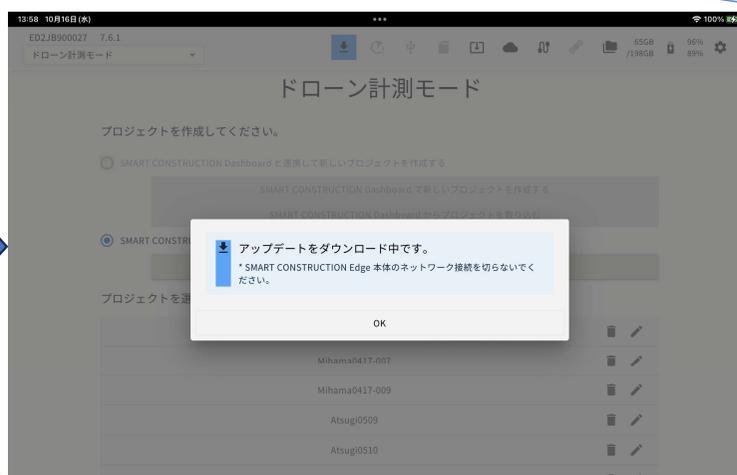
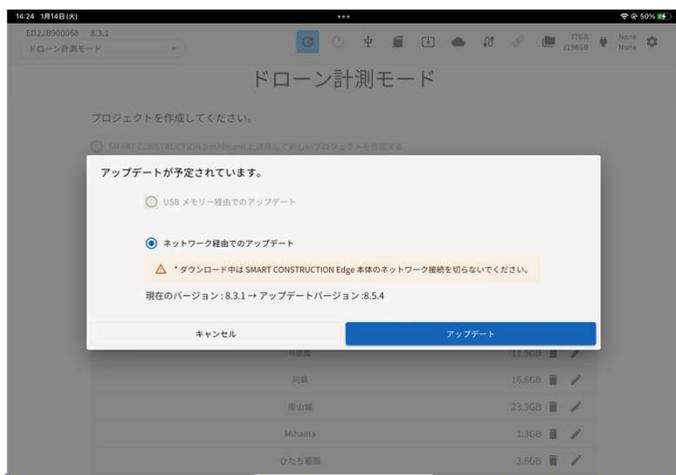
OS VERSION：“7.3.2”

- ※IOS 18.7.2以上にIPADのOSアップデートすることを推奨いたします。
- ※ iPadOSバージョン26系（「Liquid Glass」デザイン）はサポート対象外です。
- iPadOSのアップデート通知から更新は行わないでください。

<v7以降のアップデート手順>

- ネットワーク経由でアップデート対象のファイルのダウンロードが完了したのち、再起動ボタン押しを行う
- 緑LED点滅から点灯に切り替わると、OS含めてアップデートが完了します。

有線LAN接続など、良好なネットワーク環境なら30分、LTEなどであれば1時間以上、環境によっては3時間～4時間程度長時間アップデートに時間が掛かる場合がありますので、ご注意ください。  
 ※回線速度は下り50Mbps程度を良好と想定しています、



アップデートの準備ができました。  
 速やかに SMART CONSTRUCTION Edge 本体を再起動してください。

- \* アップデート中は AC アダプターを接続してください
- \* アップデート中は SMART CONSTRUCTION Edge 本体のネットワーク接続を切らないでください。
- \* アップデートには5分程度かかります
- \* 本体正面のエラー/アップデート LED が点灯している間は電源を切らないでください

次回 SMART CONSTRUCTION Edge 本体の電源を入れた時にネットワークに接続している場合、アップデートが実行されます。

後で再起動 再起動

USBでアップデートを実施する場合は、こちらをご参照ください。 <https://support.smartconstruction.com/hc/ja>

## > Smart Construction Rover



マニュアル

目的から探す

更新情報

よくあるお問合せ

## 点群処理・固定局

## > Smart Construction Edge [model:Edge2]



マニュアル

更新情報

よくあるお問合せ

ファームウェアの  
ダウンロード

## > Smart Construction Edge (旧製品, 生産終了)



マニュアル

よくあるお問合せ

## 施工現場のシミュレーション

## > Smart Construction Simulation



マニュアル

更新情報

よくあるお問合せ

AIチャット  
(テスト版)

## <背景> バッテリー充電に伴う不具合

市場で数件、バッテリーの充電ができないという不具合がありました。根本対策として、バッテリー制御マイコンのアップデートを実施します。それに伴い、バージョンアップシーケンスが以下のようになります。

- ①従来通り、アプリがダウンロードされます。
- ②ダウンロード完了（オレンジの↓）後、電源をOFF/ONください
- ③OSのダウンロードが始まります。
- ④OSのダウンロードが終わると、右のポップアップが表示されます。
- ⑤AC接続し再起動ボタンを押すと、4方向LEDの赤点灯がしばらく続きますが、そのままお待ちください。  
電源OFFになったら、通常通り再起動すればアップデート完了です。

## ※⑤の手順でAC給電をしていない場合

通常通り電源のOFF/ONができますが、サブマイコンのアップデートがなされません。

電源ON中にAC給電し、電源OFFしたタイミングでアップデートされます。

※ v6より前のバージョンでは、アップデート通知は表示されず、2段階の更新が必要となります。ご注意ください。

